

図書館だより

市立図書館 佐間3-24-7(「みらい」内) TEL:556-4227 FAX:555-3770

開館時間 午前9時30分～午後7時
休館日 10月1日(月)・2日(火)・9日(火)・15日(月)・22日(月)・29日(月)・31日(水)、11月5日(月)・12日(月)
※休館中の図書はブックポストをご利用ください。(年末年始を除く)

新着図書

- ・「おしどり夫婦」ではない鳥たち 濱尾章二／著
- ・教養としての「所得税法」入門 木山泰嗣／著
- ・少年Nの長い長い旅05 石川宏千花／著、岩本ゼログ／画
- ・10ぼんのぷりぷりソーセージ トール・フリーマン／絵、ミシェル・ロビンソン／文
- ・つきみだんご はまのゆか／作

今月のおすすめの新着DVD・新着CD

- <DVD>
- ・マンマ・ミーア!
 - ・猫の恩返し
 - ・ハドソン川の奇跡
- <CD>
- ・元気ですか(中島みゆき)
 - ・詩-KO SHIBASAKI ALL TIME BEST-(柴咲コウ)
 - ・ライク・ア・ヴァージン(マドンナ)

読書週間 特別映画会

- ▶日時 11月3日(土)午後2時(午後1時40分開場)
- ▶場所 「みらい」映像ホール
- ▶作品名 「天使のいる図書館」
- ▶内容 レファレンスサービスを通して一人の新任司書の成長を描いた、本と人、心と心をつなぐ感動の物語。
- ▶定員 70人(先着順)
- ▶入場料 無料

10月27日から11月9日は秋の読書週間です

図書館では毎月、さまざまな特集を組み、本を展示しています。この機会に、読書の秋を楽しんでみてはいかがでしょうか。



読書週間とは

読書週間は終戦間もない1947年(昭和22年)に「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・取次会社・書店・公共図書館、そして新聞・放送のマスコミ機関も加わって始まりました。毎年、文化の日を中心に2週間開催され、今年で72回目になります。

定例イベント※図書館で楽しいひとときを※

イベント名	日時	内容	対象	協力団体など	場所
ボランティアによるおはなし会	10月21日(日)午後2時	絵本や紙芝居など	幼児・小学生	おしゃべりインコの会	図書館 おはなしのへや
	10月27日(土)午前11時			おはなしタンパリン	
	11月3日(土)午後2時			おはなしの会	
	11月10日(土)午後2時			おはなしポケット	
たまごおはなし会	10月17日(水)、11月14日(水) 午前10時30分～11時 ※とことこタイムで実施	絵本、手遊び、パネルシアターなど	0歳～3歳児ぐらい	図書館職員	図書館 おはなしのへや
びよびよおはなし会	11月4日(日) 午後3時30分	絵本、紙芝居、素話(ストーリーテリング)など	4歳児ぐらい～小学生	図書館職員	
こっこおはなし会	10月20日(土)午後3時30分	絵本の読み聞かせ、工作、折り紙など	小学生		
英語であそぼう	11月11日(日)午前11時	英語の歌遊びや絵本の読み聞かせ	幼児・小学生	バイリク美子さん	
子ども映画会	10月20日(土)午後2時	まめうしくん		図書館職員	

図書館シネマ倶楽部	10月28日(日)午後1時30分 (午後1時10分開場)	独裁者(洋画:126分) 出演:チャールズ・チャップリン	大人を対象としていますが、どなたでも鑑賞できます(定員70人、先着順)	図書館職員	「みらい」映像ホール
-----------	---------------------------------	---------------------------------	-------------------------------------	-------	------------

高齢者のインフルエンザ予防接種

- 接種期間** 10月20日(土)～平成31年1月31日(木)
- 対象** 次のいずれかに該当し、接種を希望する方(インフルエンザの予防接種は義務ではありません)
- ①接種日現在65歳以上の方
 - ②接種日現在60歳以上64歳以下の方で心臓、腎臓または呼吸器の機能、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能のいずれかに身体障害者手帳1級相当の障害がある方
- 接種方法** 次の指定医療機関での接種(年度内1回)
※指定医療機関へ予約してください。
- 自己負担金** 1,500円(生活保護受給中の方、特定中国残留邦人等で支援給付を受けている方は免除)
- 持ち物** 自己負担金、健康保険証など生年月日と住所の確認ができるもの、対象②の方は身体障害者手帳、生活保護受給の方は受給者証、特定中国残留邦人などで支援給付を受けている方は本人確認証
- 注意** 市外での接種を希望される方は、予約前に保健センターにご連絡ください。

指定医療機関一覧

医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号
赤井胃腸科	553-2233	行田協立診療所	556-4581	根本医院	555-1261
荒木医院	559-3102	壮幸会行田総合病院	552-1111	野口産婦人科	556-4292
池畑クリニック	556-2295	行田中央総合病院	553-2000	ハビネス診療所	559-0082
石井クリニック	555-3519	行田ふれあいクリニック	555-1155	古田整形外科医院	553-5221
いわね内科クリニック	554-1313	栗原医院	556-2272	松原医院	553-6700
加藤内科医院	556-3253	小林内科医院	552-0362	南川げんきクリニック	554-8835
川島胃腸科	553-0001	さかづめ内科医院	553-5202	やまかわ内科クリニック	564-1488
河本耳鼻咽喉科	555-2626	さきたまクリニック	564-6620	吉田記念山本クリニック	558-3507
行田岡田医院	557-2311	田代医院	553-2351		

行田市不育症検査費助成事業

不育症検査を受けた方を対象に、費用の一部を助成します。

- 対象** 次の全ての項目に該当する方
- ①流産、死産、あるいは早期新生児死亡の既往が2回以上ある者、または医師に不育症と診断された者
 - ②婚姻している夫婦
 - ③申請日に、夫婦の双方または一方が市内に住民登録されている
 - ④検査開始時の妻の年齢が43歳未満
 - ⑤県内で不育症検査費助成金の交付を受けたことがない
 - ⑥夫婦ともに、市税などを滞納していない
- 対象検査** 次の全ての項目に該当すること
- ①指定医療機関または助成対象医療機関で受けた不育症検査
 - ②夫婦ともに受けた不育症検査であり、検査開始日がどちらか早い方の日から、検査終了日がどちらか遅い方の日までの期間が1年以内のもの、または、妻のみが受けた不育症検査で、検査開始日から1年以内のもの。ただし、不妊治療の一環として受ける不育症検査は対象となりません。
 - ③検査の終了日が平成30年10月1日以降であること。
- ※「指定医療機関」または「助成対象医療機関」とは、特定不妊治療で知事等が指定する医療機関をいいます。詳しくは、県ホームページ「埼玉県不妊治療費助成事業のご案内」の「ウェルカムベイビープロジェクト関連事業」中の「指定医療機関」または「助成対象医療機関」をご覧ください。
- 助成内容** 対象となる検査の費用のうち、自己負担額(医療保険の適用があった場合は医療保険による給付を除く)に対して上限20,000円(千円未満切り捨て)を助成します。助成回数は夫婦1組につき1回まで。
- 申請期限** 不育症検査終了日から当該年度の年度末まで。ただし、2月1日～3月31日に検査の終期が属するものは、翌年度5月31日まで申請することができます。
- 申請先** 保健センター